

～北と南の絆固く～

今年も息の合った演舞を披露！！



積丹町&香美市 合同チーム

第22回YOSAKOIソーラン祭り



両日とも雲一つ無い快晴の下、積丹町からの56名と高知県香美市から32名、3歳から83歳までの総勢88名は軽快な鳴子の音を響かせながら、札幌市内6会場で息の合った演舞を披露しました。

北海道最大の祭典の一つであり、初夏の風物詩となっている「第22回YOSAKOIソーラン祭り」に、今年も姉妹都市高知県香美市と積丹町の合同チーム「ヤーレンソーラン積丹町&香美市」として6月8日、9日の2日間にわたり参加しました。



また、今年は高知県の「よさこい祭り」が60周年を迎えることから、よさこい祭りとは高知県のPRを目的に山田太鼓保存伝承会の皆さんが本場の地方車を持ちこみ、合同チームへ参加しました。

第一回からの出場を誇る本物のソーラン節とよさこい鳴子踊りに沿道の観客からは沢山の拍手と歓声が飛び交いました。

6月7日には総合文化センターで「YOSAKOIソーランとリョーマの休日～山田太鼓と踊りの夕べ～」と題した前夜祭が開催され、紫苑流による踊りやYOSAKOIソーラン踊り、山田太鼓の演奏が披露されたほか、香美市の特産品が当たる抽選会が行われ、華々しいステージや太鼓の演奏の迫力に会場は大いに沸きました。

こうした北と南の交流の輪を今後も広げていきましょう。



(前夜祭)

